

和泉短期大学

現任保育者 卒業生対象 若手・中堅 研修会

「WILL -ともに語ろう-」

日程：8月6日（土）13:30（13:00より受付）～
8月7日（日）12:30

費用：2,000円（1日のみ1,000円）当日徴収いたします

内容：1日目：8月6日（土）

13:30 開会・全体会「保育の動向」

14:30 分科会

①「子どもの興味により継続する遊びの工夫」

②「保育記録やお知らせの工夫」

③「保護者への支援方法の実際」

16:30 夕食準備・交流

18:00 夕食

19:30 情報交換会

2日目：8月7日（日）

10:00 リカレント講座 ワークショップ 講師：保田江美先生

「実践者として働くためのトランジション
-アクティブトランジションから-」

12:00 全体会「これからの保育者の専門性」

12:30 閉会

申込期限：7月11日（月）

申し込み方法：電話@和泉短期大学（代表） 担当：曾根、穴井

メール@matsuyama@izumi-c.ac.jp 担当：和泉短期大学 松山洋平

※お名前、勤務先、学生番号または卒業年度、分科会希望、近況等をお知らせください。

主催：和泉短期大学、「WILL -ともに語ろう-」実行委員会（担当：准教授 松山洋平）

後援：和泉短期大学同窓会

連絡先：和泉短期大学

神奈川県相模原市中央区青葉2-2-1

TEL（042）754-1133（代表）

リカレント講座 ワークショップ紹介

「実践者として働くためのトランジション -アクティブトランジションから-」

社会人生活を進めていくと、思いもよらないところでコミュニケーションのギャップに出会うことはありませんか。相手の発言の真意が汲み取れなかったり、相手の要求が何か分からなかったり…学生時代には感じたことのない経験に戸惑うこともあるのではないのでしょうか。これは、学生時代に社会や職場に出るためのウォーミングアップがなく、「行き当たりばったり」「出たとこ勝負」に働き始めてしまっているせいだと考えることができます。

そこで、今年度は「働くためのトランジション」について、東京大学大学院学際情報学で中原淳先生のもとで研究されている保田江美先生をお招きし、ワークショップを通して学ぼうと思います。ワークショップでは「カード de トーク」など様々な活動によって、現場でのリアルな状況を共有したり考えたりして、より保育者としての連携の仕方や働き方のポイントを学びたいと考えています。保育者を志す学生も、これからの実習や就職活動に向けて有意義な学びとなること間違いありません。是非ご参加ください。

講師：保田江美（やすだえみ）

■プロフィール

慶應義塾看護短期大学卒業後、大学病院に勤務。退職後、クリニックでの勤務を経て、筑波大学医学群看護学類3年次編入。卒業後、2012年に現大学院修士課程に進学。修了後、博士課程に進学。修士（学際情報学）。現在は東京大学大学院学際情報学府 中原淳研究室 博士課程に在籍中。

参考：「アクティブトランジション 働くためのウォーミングアップ」三省堂（2016/4/15）

館野泰一・中原淳 編著 木村充・浜屋祐子・吉村春美・高崎美佐・田中聡・保田江美 著

◎編著者メッセージ

本書のタイトルである「アクティブトランジション」とは、筆者らの造語であり、1)「教育機関を終え、仕事をしはじめるようとしている人々が、働きはじめる前に、仕事や組織のリアルをアクティブに体感し、働くことへの準備をなすこと」、その結果として、2)教育機関から仕事領域への円滑な移行(トランジション)を果たすことを指します。これまで行われてきたトランジションに関する研究に着想を得ながら、教育機関と仕事領域の円滑な接続を実現するべく登場させた概念です。(エピローグより)

